

<目的>野蒜(ノビル)は東アジアに広く生息する多年草の野生ネギ属植物である。タマネギやニンニクに似た香りを持つ食用植物であり、山菜として食されている。しかしながら日本では、農作物として栽培化されていない。そこで本プロジェクトでは、野蒜を作物化して、同時に機能性や生理活性物質等を探り様々な分野に応用し、佐賀大学発ブランド野菜として発信し、広く消費者に普及させる。

## 全世界において、野蒜の体系的な研究は皆無

野蒜 (*Allium macrostemon*)

- 山菜や野草
- 田畑の畦道や堤防等に自生
- 沖縄から北海道まで広く分布
- 東アジア地方に分布



これまでの成果

- 全国から収集(野蒜葉500株, 球根約150株)  
日本一の遺伝資源保有
- 本庄キャンパスとアグリセンターで保存
- 病原ウイルス, 学会発表(2回)
- 野蒜の遺伝的多様性(進行中)

- 学会発表
- 論文発表
- 特許

## 遺伝資源の有効利用 野蒜プロジェクト



研究分担(佐賀大学農学部)

- 大島・福田: 野蒜遺伝資源の収集
- 福田: 有望系統の選抜
- 上埜・福田: 栽培体系の確立と育種
- 大島・吉賀・徳田: 病害虫の防除
- 駒井: 新品種開発や大量増殖法
- 石丸: 生理活性物質の検討
- 光武・上野: 機能性成分の検討と系統別定量と分析

- 農林水産業・食品産業  
科学技術研究推進事業
- 文科省概算要求

- 佐賀大学文化教育学部  
萱島: 調理・栄養
- (株)バイオテック富士  
(佐賀県野菜苗業者)  
奥井: 普及
- 農研機構

- 省農薬栽培が可能な野菜に
- 食べて美味しい, 体に良い野菜に

佐賀大学発信の新野菜  
‘野蒜’

- 佐賀(地域)から全国そして世界へ!!